

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (甲信越)	◎	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・会合や人が集まる行事も新型コロナウイルス感染症発生前に戻り、予約状況が良くなっている。
	◎	その他サービス [葬祭業] (経営者)	お客様の様子	・今月は葬儀の依頼が非常に多い。また、墓じまいの依頼も多い。跡を継いでくれる人がいないため、自分が元気なうちにと考える人が増えてきている。
	○	百貨店 (経理担当)	お客様の様子	・10月までは気温の高い日が続き、冬物衣料の動きが良くなかったが、11月に入り気温の低下とともに、冬物衣料や防寒用品等が動き始めて売上増加につながっている。
	○	スーパー (経営者)	販売量の動き	・前年比では売上は11%増加し、来客数は6%減少している。11月初旬に大型イベントがあり、3日間で60万円の売上を達成した。11月10日まで、春からずっと忙しく、ようやく一息ついたところである。地域の高齢者向けの弁当注文が2か所から入り、今後も他の地区の会合用弁当注文が入っている。これらをこなして令和6年を無事に過ごしたい。
	○	コンビニ (エリア担当)	来客数の動き	・来客数の下げ幅が縮小傾向である。しかし、前年実績を超えるほどには至らない。
	○	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・衆議院議員選挙が終わり 幾らか落ち着いたようで、若干ではあるものの、販売量の増加がある。
	○	スナック (経営者)	来客数の動き	・9月頃から諸物価が上昇して、急激に街の人がお金を使わなくなっている。やや落ち着いてきた様子だが、夏前の景気の良いときにはまだ戻っていない。仕入価格はかなり上がっているが、価格転嫁はなかなか難しい。
	○	タクシー (経営者)	来客数の動き	・若干ではあるが収入が上がったため、やや良くなっている。
	○	観光名所 (職員)	来客数の動き	・ツアー客、特に外国人観光客が大幅に増えている。
	□	商店街 (代表者)	お客様の様子	・以前と違い、客が徐々に来なくなっている。
	□	商店街 (代表者)	来客数の動き	・特殊事情ではあるものの、競合店舗が改装中のため、今までにない繁忙が続いている。
	□	スーパー (経営者)	来客数の動き	・既存店の来客数は微増しており、単価上昇が1人当たりの買上点数減少を上回っている。
	□	スーパー (店長)	販売量の動き	・買上点数は減少傾向であり、徳用サイズやセール品の売上が伸びている。
	□	コンビニ (経営者)	単価の動き	・コンビニを運営しているが、客は価格という点で、非常に厳しい目を向けているようで、どこで買っても定価のたばこ等の売上は伸びるが、逆に店によって価格に差がある物は、売上の伸びが伸びない。
	□	コンビニ (店長)	お客様の様子	・例年と比べ、今月に関しては最低気温、最高気温共に高く推移したため、客の動きが割と良くなり、通常より良い状況になったが、気温が落ち着いてくると、余り変わらない。
	□	家電量販店 (店長)	来客数の動き	・来客数は年々減少しており、通期で5%ほど減少している。
	□	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・新車供給が正常化したことに伴い、受注は増加傾向にある。
	□	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・車検、一般整備は目標をクリアしている。車両販売に関しては、以前から客の格差が若干みられていたものの、ここ最近、更に格差が大きくなった印象を受けている。これは車に限ったことではない。
	□	旅行代理店 (副支店長)	お客様の様子	・売上の状況や客の様子等から、3か月前とほぼ同じ状態である。気候変動により旅行時期の変更はあるが、需要そのものは変わらずに堅調である。
	□	通信会社 (社員)	来客数の動き	・インターネットの10ギガサービスがスタートしたが、問合せは予想したほど伸びていない。いまだ需要とのミスマッチがあるようである。
□	遊園地 (職員)	来客数の動き	・貸切営業や延長営業等を行ったものの、大型イベントの開催が少なかったため、変わらない。	

	▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・食品の値上がりに伴い、全体的に消費意欲が落ち込んでいる。年末を迎えるが、客にアプローチをしても乗ってこない。相変わらず、必要な物を必要なときに購入するケースが多い。これといって売上の増える要素が見当たらない。
	▲	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・事業者負担となる政策が多すぎる。毎年、人件費等の経費が増加しているため、このままでは小さな会社は存続できなくなる。
	▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・売上は横ばいだが来客数が減っている。物価も上がる一方なので、依然として節約志向にある。
	▲	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・前年と比べて来客数が大幅に減っており、厳しい状況である。
	▲	その他専門店〔酒〕（店長）	単価の動き	・今月の売上は前年と比べるとやや伸びており、特に日本酒が伸びている。ただし、諸物価が上がっていることもあり、米が新米に変わって非常に高くなった分、信じられないほど売れない局面も出ており、原価の高騰に困惑している。米に関しては価格高騰がいつ収束するのかやや不安がある。日本酒の新酒も出始めているが、日本酒も米からできているため、いずれ価格が高騰するのではないかと懸念している。
	▲	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・秋の旅行客の入込客数も比較的良好な状況で、新型コロナウイルス感染症発生前との比較で売上は119%ほどになっている。ただし、夏は猛暑だったこともあり、新型コロナウイルス感染症発生前との比較で131%の売上だったので、夏と比較すると減少傾向ではある。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・ランチ利用の来客数はほぼ変わらないが、ディナーは大幅な減少傾向が続いている。宿泊も好調に推移しているものの、大人数の会合の動きが鈍く、結果的に悪い状況で推移している。
	▲	ゴルフ場（副支配人）	来客数の動き	・以前と比べて、平日の来場の動きが鈍くなっていることに加え、優待券の金額も下げなければ、客は動かなくなっている。
	▲	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	来客数の動き	・前年より良いものの、3か月前の来客数、売上に比べるとそれほど勢いはない。団体利用が期待するほど伸びていない。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・相変わらず、低迷している。街中の人でも来店客からも明るさが見受けられない。当然、来客数は回復の兆しがない。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・11月は企業、法人宴会が非常に悪い。11月後半の金曜日の22日、29日は本来であれば忘年会の動きが毎年出てくる日だが、今年に限っては忘年会という名目の宴席が1件もなかった。これはコロナ禍、新型コロナウイルス感染症発生前でも初めてのことである。
	×	タクシー運転手	販売量の動き	・今月は非常に悪い。9月は前年比99%で、10月が90%となっていたが、11月は現在のところ82%まで落ち込んでいる。9月以降、当社乗務員29人中、退職者が2人、長期病欠者が1人で、稼働率が非常に落ちている。
企業動向関連 (甲信越)	◎	*	*	*
	○	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・恒常的な円安が続いており、大手メーカーが輸入のボジョレーヌーヴォーの取扱数量を控えた影響で、スーパー等が国産に乗り換えた結果、前年より引き合いは増加している。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が止まっている。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・仕事量は余り変わらないものの、コンスタントに受注につながる案件は発生している。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・冬季に向かい、受注ペースが若干落ちているようである。

	<input type="checkbox"/>	金融業（調査担当）	取引先の様子	・景気全体では足踏み状況にある。製造業は中国景気の低迷やIT関連需要の回復の遅れなどから、生産は一進一退の状況にある。非製造業は観光関連の需要が増加し、全体の景気を押し上げているものの、人手不足やコスト増加が押下げ要因となっている。
	<input type="checkbox"/>	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・当地の湖周辺は観光事業に携わる企業や事業も多く、業況は新型コロナウイルス感染症発生前の水準に戻ってきている。多くの事業所は原油価格の上昇や物価高騰の影響を受けている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	受注量や販売量の動き	・催事は集客、売上共に前年並みを維持できている。販売単価は製品価格の値上がりがあるために前年を上回るものの、購入客は2割減少している。高額品を求める客は少なくなっている。卸部門は低調で、小売店の店頭販売が売上不振のため、前年同月比20%ダウンとなっている。
	<input type="checkbox"/>	食料品製造業（製造担当）	それ以外	・依然として、原材料価格や電気料金が高止まりしている上に、最低賃金の引上げもあって赤字になる。
雇用 関連  (甲信越)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—	—
	<input type="checkbox"/>	*	*	*
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・相変わらず登録者が少なく、人選に苦労している。良い政策が打ち出されない限り、今後の経済復興は難しいかもしれない。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	求人数の動き	・10月はイベントや観光客等の増加を主な要因として、サービス業では警備に係る求人が前年と比べて大幅に増加し、宿泊業や飲食店でも求人が増加している。製造業は半導体供給の回復により、関連する電子部品、デバイス、電子回路等製造業で大幅に増加し、新規求人全体で7か月ぶりに前年比増加となったが、就職件数は前年を下回って推移しており、景気判断がしにくい状況である。
	<input type="checkbox"/>	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・製造業では現場作業者の求人は相変わらず多く推移しているが、重要なポジションとなる開発設計、生産技術、品質等管理系求人の伸びが悪い。
	<input checked="" type="checkbox"/>	*	*	*
	<input type="checkbox"/>	—	—	—